

『家庭学習』のすすめ



《保護者の皆さまへ》

家庭学習は、日本だけでなくどこの国でも、たいていは「宿題」という形で教師が子どもたちに課しています。それは、宿題であれ、子ども本人の自発的学習であれ、家庭学習の習慣を身に付けることが、子どもたちにとって必要なことだからです。

では、なぜ家庭学習は必要なのでしょう？それはあとから述べますが、家庭学習にはさまざまな「教育的効果」が期待できるからです。

そこで大志小学校では、これまで以上に家庭学習（宿題）に力を入れていくことを全職員で確認し合い、このたび『家庭学習のすすめ』を作成しました。

つきましては、この『家庭学習のすすめ』をよく読んでいただき、家庭学習（宿題）に対するより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、お子さまにも同様の『家庭学習のすすめ』（児童用）を配っておりますので、お子さまの勉強机の近くなど、いつも目につく所に貼っていただきますようよろしくお願いいたします。

家庭学習はなぜ必要なのでしょう？

家庭学習はなぜ必要なのでしょう？学校の授業だけきちんと受けていればいいのではないのでしょうか？・・・実は、家庭学習と学校の授業は、いわば「車の両輪」のようなもので、どちらもおろそかにできません。家庭学習には次のような5つの役割（教育的効果）があるからです。

① 学校で勉強したことがしっかり身につく。

学校で習ったことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、学校での学習だけではすぐに忘れてなかなか習熟・定着ができないのが現状です。学校で習ったことを、家庭でも繰り返し毎日練習することが何よりも大切です。

② 脳が発達する。

読み・書き・計算などの反復練習を続けることにより脳が活性化する、と言われています。最近では、脳の老化を防ぐために、子どもだけでなく大人でも声を出して文を読んだり、計算問題を解いたりすることがちょっとしたブームにさえなっています。脳は筋肉と同じで、鍛えれば鍛えるほど発達する、とも言われます。小学生のうちからどんどん脳を鍛えさせましょう。

③ 学ぶ習慣と喜びが身につく。

毎日欠かさず家庭学習を続けることにより、自らすすんで学ぶ習慣と、学ぶ楽しさや喜びを身につけるようになります。毎日続けることにより、勉強することが面倒ではなく、やがてごく当たり前の基本的生活習慣になります。したがって、低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④ テレビやゲームに負けない子になる。

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームです。テレビやゲームに毎日たくさんの時間を費やしている子は、一般に本を読むのが苦手で、勉強が嫌いな子が多いと言われています。当然、学力は伸びません。また、人をばかにしたり、暴力をふるったり。弱い者をいじめたり、人を殺したりする画像は、子ども達の正邪善悪についての価値判断を狂わせてしまいます。

テレビやゲームなどの誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力も養うことができます。



テレビやゲームに打ち勝つためには、本人はもとよりご家族みんなの協力が不可欠であることは言うまでもありません。大志小では、今年度も月に1回「ノーテレビ・ノーゲームデー」に取り組んでいます。ぜひご家族全員で「ノーテレビ・ノーゲームデー」に積極的に取り組んでみてください。

⑤ 家族のふれあいができる。

子どもが本を読んでいる時そばで聞いてあげる、子どもが勉強が分からない時に教えたり調べたりしてやる、など家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、家族のふれあい（コミュニケーション）ができます。低学年の子どもには親が本を読んでやったり、一緒に読書をしたりする（親子読書）のもいいことです。家族のふれあいの機会が増えることにより、子どもが心身ともに健康に育ち、自信とやる気を深め、しいては学力も伸びていくと考えられます。

☆保護者の皆さまにおねがいしたい5つのこと☆

前述の通り、家庭学習は5つの教育的効果が期待できます。学校では、その効果を生かして授業に取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でも、お子さまのやる気を育てるようなはたらきかけをお願いいたします。

① 家庭学習は、毎日させてください。

学校では、各学年に応じた家庭学習（宿題）を毎日出しています。学校が休みの日も例外ではありません。それは、家庭学習はとにかく毎日続けることが大切だからです。休日にスポーツをしたり遠出をしたりする予定がある場合は、その前に家庭学習を済ませておくのも一つの方法でしょう。疲れない過ごし方を家族で話し合い、実践されるとよいでしょう。

学習時間 の目安	低学年	中学年	高学年
	30分	45分	60分

※帰ったらすぐに宿題に取り組むことを定着させてください。

※3年生以上は自学に取り組むようにしましょう。

（一中校区内で共通した取り決めです。）

② 家庭学習は、場所を決めて、短時間で集中させてください。

学力を伸ばすためには、1時間も2時間も長く勉強させたらいいと思いがちです。1日や2日ぐらいなら何とか集中できるかと思いますが、毎日長時間やらせていると、勉強嫌いになってしまう可能性もあります。短時間で集中してやるのが長続きのこつです。また、場所を決めて毎日同じ場所で勉強するのもリズムやパターンが作りやすくていいと思います。

③ 子どもが家庭学習をしている間は、テレビを消してください。

テレビを見ながらの勉強はもちろんいけません。テレビの音が聞こえるような環境では子どもは集中できません。集中して勉強に取り組めるように、環境づくりをしてあげてください。

④ 子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりしてあげてください。

親や教師が子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲を高めることができます。反対に、大人が口うるさく強制したり、間違いをきつくとがめたりすると逆効果になります。



⑤ 生活のリズムを整えさせてください。

家庭学習を毎日決まった時間に行うためには、家庭での生活リズムを整えることが大切です。「生活のリズムを整えることが学力向上につながる」ことはこれまでも学校だよりなどで何度もお知らせしてきました。

「早ね・早起き・朝ごはん」は正しい生活リズムの大原則です。学校でも家庭でも生き生きと元気に学習に取り組むために、お声かけをお願いいたします。

就寝時間については、それぞれのご家庭で事情があるかと思いますが、子どもの健全な成長を促すためにも、8時間以上の睡眠時間が理想的です。

